

マクロ類における緊急赤潮情報 3

令和8年8月12日

大分県農林水産研究指導センター水産研究部

佐伯湾で有害プランクトン（マーガレフィディニウム（旧：コクロディニウム）・ポリクリコイデス）が注意密度を超えています。マクロ類の管理に十分注意願います。

発生場所	佐伯湾
発生期間	8月12日～
プランクトン	マーガレフィディニウム・ポリクリコイデス
	霞ヶ浦(5 m層) 8 cells/ml
	※詳細は別紙参照

（マーガレフィディニウム（旧：コクロディニウム）・ポリクリコイデスの注意点）

- ・ **マクロの場合 警戒密度：30 cells/ml 注意密度：3 cells/ml**
- ・ マーガレフィディニウム・ポリクリコイデスは魚介類に斃死を引き起こす有害な赤潮プランクトンです。
- ・ 鉛直運動するため午前中に海色がよくても、午後から着色し被害を発生することがあります。（中層で赤潮になっている）
- ・ パッチ状になった赤潮は潮流や風の影響で移動し養殖、蓄養中の魚介類に被害をおよぼすことがあります。
- ・ マーガレフィディニウム・ポリクリコイデスは低密度でも被害を引き起こす可能性があります。

赤潮発生場所での対応

- 投餌は控える。
- 赤潮海域へ魚介類を入れない。
- 赤潮海域から魚介類を避難する。
- 畜養は控える。

霞ヶ浦
8 cells/ml(5m層)

